



駿東伊豆消防組合

議会だより

NO.30 令和7年10月発行



駿東伊豆消防組合議会新体制始動！

目次

- 8月定例会の議事日程・議案一覧……P2
- 8月定例会の議案一覧……………P3
- 議長・監査委員あいさつ……………P4
- 新組合議員紹介……………P5
- 議案質疑……………P6
- 一般質問……………P7
- 令和6年度決算審査報告……………P10

駿東伊豆消防組合 構成市町

沼津市 ・ 伊東市 ・ 伊豆市 ・ 伊豆の国市 ・ 東伊豆町 ・ 函南町 ・ 清水町

地域住民の皆様の安全・安心を守ります。

駿東伊豆消防組合議会 定例会が開催されました。

令和7年第2回駿東伊豆消防組合議会定例会議事日程

令和7年8月20日（水曜日）午後2時00分 開会

- 第 1 議席の指定
- 第 2 会議録署名議員の指名
- 第 3 諸般の報告
- 第 4 議長の選挙
- 第 5 会期の決定
- 第 6 報第 3号 専決処分の報告について（交通事故損害賠償額の決定）
- 第 7 報第 4号 専決処分の報告について（交通事故損害賠償額の決定）
- 第 8 報第 5号 専決処分の報告について（交通事故損害賠償額の決定）
- 第 9 報第 6号 専決処分の報告について（損害賠償額の決定）
- 第 10 報第 7号 専決処分の報告について（交通事項損害賠償額の決定）
- 第 11 報第 8号 繰越明許費繰越計算書の報告について
- 第 12 認第 1号 専決処分の報告及びその承認について（静岡県市町総合事務組合同規約の一部変更）
- 第 13 認第 2号 専決処分の報告及びその承認について（駿東伊豆消防組合職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び駿東伊豆消防組合職員の育児休業等に関する条例の一部改正）
- 第 14 認第 3号 令和6年度駿東伊豆消防組合会計歳入歳出決算の認定について
- 第 15 議第 8号 財産の取得について（更新高規格救急自動車救急資器材）
- 第 16 議第 9号 駿東伊豆消防組合職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
- 第 17 議第 10号 駿東伊豆消防組合職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- 第 18 議第 11号 令和7年度駿東伊豆消防組合会計補正予算（第1回）について
- 第 19 認第 4号 監査委員の選任について（組合議員）
- 第 20 消防行政に対する一般質問
- 第 21 議会運営委員会の閉会中の継続調査



< 議案一覧 >

< 駿東伊豆消防組合管理者提出議案 >

議案名	内 容	議決結果
報第3号 専決処分の報告について (交通事故損害賠償額の決定)	本案は、地方自治法第180条第1項の規定による議会の指定に基づき、交通事故に係る損害賠償の額について専決処分したので、報告するものです。	報告
報第4号 専決処分の報告について (交通事故損害賠償額の決定)	本案は、地方自治法第180条第1項の規定による議会の指定に基づき、交通事故に係る損害賠償の額について専決処分したので、報告するものです。	報告
報第5号 専決処分の報告について (交通事故損害賠償額の決定)	本案は、地方自治法第180条第1項の規定による議会の指定に基づき、交通事故に係る損害賠償の額について専決処分したので、報告するものです。	報告
報第6号 専決処分の報告について (損害賠償額の決定)	本案は、地方自治法第180条第1項の規定による議会の指定に基づき、損害賠償の額について専決処分したので、報告するものです。	報告
報第7号 専決処分の報告について (交通事故損害賠償額の決定)	本案は、地方自治法第180条第1項の規定による議会の指定に基づき、交通事故に係る損害賠償の額について専決処分したので、報告するものです。	報告
報題8号 繰越明許費繰越計算書の報告について	本案は、地方自治法施行令第146条第2項の規定により、令和6年度駿東伊豆消防組合繰越明許費繰越計算書を報告するものです。	報告
認第1号 専決処分の報告及びその承認について (静岡県市町総合事務組合規約の一部変更)	本案は、地方自治法第179条第1項の規定により、静岡県総合事務組合の規約の一部を変更することについて専決処分したので、報告し承認を求めるものです。	承認
認第2号 専決処分の報告及びその承認について (駿東伊豆消防組合職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び駿東伊豆消防組合職員の育児休業等に関する条例の一部改正)	本案は、地方自治法第179条第1項の規定により、駿東伊豆消防組合職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び駿東伊豆消防組合職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について専決処分したので、報告し承認を求めるものです。	承認
認第3号 令和6年度駿東伊豆消防組合会計歳入歳出決算の認定について	本案は、地方自治法第233条第3項の規定により、令和6年度駿東伊豆消防組合会計歳入歳出決算を、監査委員の意見を付けて議会の認定に付するものです。	認定
議第8号 財産の取得について(更新高規格救急自動車救急資器材)	本案は、更新高規格救急自動車3台に積載する救急資器材の更新に伴い、予定価格2,000万円以上の財産取得となるため、議会の議決を得るものです。	可決
議第9号 駿東伊豆消防組合職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	本案は、妊娠・出産時や育児期の職員へ面談等による両立支援制度の周知や制度利用・働き方の意向聴取及び聴取した意向への配慮を行い、職員が子の年齢に応じた柔軟な働き方を選択できるよう支援する体制整備を行うため、駿東伊豆消防組合職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正するものです。	可決
議第10号 駿東伊豆消防組合職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	本案は、育児に係る部分休業の取得について、子の養育に柔軟に対応できる規定を整備するため、駿東伊豆消防組合職員の育児休業等に関する条例の一部を改正するものです。	可決
議第11号 令和7年度駿東伊豆消防組合会計補正予算(第1回について)	本案は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億3,028万9,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ69億8,041万2,000円とするものです。	可決
認第4号 監査委員の選任について(組合議員)	本案は、新たに組合議員から監査委員を選任することについて同意を求めるものです。	同意

就任あいさつ

新駿東伊豆消防組合議長・新監査委員



尾藤 正弘 議長

新駿東伊豆消防組合議会議長

尾藤 正弘

ただいま、議長を拝命いたしました
沼津市議会の尾藤正弘と申します。
梶前議長同様に皆様の御理解と御
協力を賜りたく存じます。
どうぞよろしくお願い申し上げます。



飯田 康 監査委員

新監査委員

飯田 康

ただいま、皆様方の御同意のもと監
査委員に任命いただきました。伊豆の
国市の飯田と申します。
消防組合の公正かつ効率的な運営を
確保するため、監査委員として与えら
れた職責を全うすべく鵜飼代表監査委
員とともに一生懸命頑張らせていた
きます。
よろしくお願いします。

次回の定例会は、令和8年2月
令和8年度予算案が審議されます。
開催場所は、沼津北消防署の予定です。

新選出議員を紹介します！

このたび、新たに伊豆の国市、東伊豆町、沼津市及び函南町から組合議員が選出されました。



皆様の安全・安心を全力
で守ります。

新議会構成

新選出議員

議席番号	議員氏名	選出市町	役 職
1 番	虫明 弘雄	伊東市	
2 番	飯田 康	伊豆の国市	
3 番	山内 洋平	函南町	
4 番	田代 稔	清水町	議会運営委員会 副委員長
5 番	鈴木 伸和	東伊豆町	
6 番	波多野 靖明	伊豆市	
7 番	大川 敬太郎	沼津市	
8 番	佐藤 健一郎	沼津市	
9 番	佐藤 周	伊東市	副議長

議席番号	議員氏名	選出市町	役 職
10 番	杉本 一彦	伊東市	議会運営委員会 委員
11 番	天野 佐代里	伊豆の国市	議会運営委員会 委員
12 番	大庭 桃子	函南町	議会運営委員会 委員
13 番	飯田 安雄	清水町	
14 番	須佐 衛	東伊豆町	議会運営委員会 委員
15 番	三田 忠男	伊豆市	議会運営委員会 委員
16 番	佐野 博一	沼津市	議会運営委員会 委員長
17 番	平野 謙	沼津市	
18 番	尾藤 正弘	沼津市	議長

鈴木伸和議員

・報第3号、4号、5号、7号専決処分の報告について

(交通事故損害賠償額の決定)

議案質疑

第二回定例会では、1人の組合議員から質問がありました。

鈴木 伸和 議員

報第3号、4号、5号、7号専決処分の報告について(交通事故損害賠償額の決定)

問

交通事故損害賠償額の専決処分ですが、次の4点について、それぞれ伺う。

1 点目、事故状況の詳細と原因は何か。

2 点目、過失割合はどうなっているか。

3 点目、職員(運転者)の行政処分と刑事処分はどうなっているか。

4 点目、損害賠償額の算出根拠はどうなっているか。

答

警部課長

初めに、報第3号について、事故状況は、東伊豆消防署の救急自動車、傷病者を救急車に収容し緊急走行で北進中、交差点に赤信号で進入した際、東側から進入してきた軽乗用車と衝突した事故です。

原因は、救急車が交差点を徐行により通過中、相手方車両が救急車に気づかず交差点に進入してきたため衝突

したものです。

過失割合は、本組合20%に対し、相手方80%です。職員の行政処分・刑事処分はございません。損害賠償額は、相手方車両の修繕費を過失割合で按分したものです。

報第4号の事故状況は、沼津北消防署原分署の救急車が出動した際、当該場所に方向転換のため進入したところ、浄化槽の蓋を救急自動車の右後輪で踏み損傷させたものです。原因は、機関員及び誘導員が浄化槽の蓋に気づかず、車両を移動させたことによるものです。

過失割合は、本組合が100%です。職員の行政処分・刑事処分はございません。損害賠償額は、浄化槽蓋の修繕費全額です。

報第5号の事故状況は、沼津北消防署の救助工作車が、踏切を通過しようとした際、前方車両の流れが急に悪くなり、下りてきた遮断桿に車両後方上部が接触したものです。

過失割合は、本組合の過失が100%です。

職員の行政処分・刑事処分はござ

いません。

損害賠償額は、遮断桿の交換修繕費全額です。

報第7号の事故状況は、田方中消防署の消防自動車、交差点を左折する際、交差点付近に停車中であつた相手方車両の左側面に消防自動車の右後方部分を接触させた事故です。

過失割合は、本消防組合が100%になります。

職員の行政処分・刑事処分はございません。

損害賠償額については、相手方車両の修繕費全額です。

今回、交通事故に係る4件の専決処分を報告させていただきましたが、事故防止の対策として、これまでに発生した事故も含め公用車事故等情報シートを作成、全職員が事故情報を共有し所属部署ごとの検討会や、小隊長及び機関員となる職員を対象とした各種安全運転研修を開催し、安全意識の向上を図ってまいります。

今後も引き続き交通事故の撲滅に努めてまいります。



第二回定例会では、2人の組合議員から質問がありました。

消防行政の方針・考え方ここが聞きたい！

鈴木伸和 議員

・東伊豆消防署における職員の配置について

大庭桃子 議員

・女性職員の採用状況について

・広域化のメリットとされる署所の配置について

鈴木 伸和 議員

・東伊豆消防署における職員の配置について

問 東伊豆消防署における令和7年度の職員配置について、以下の点を伺う。

1 点目、職員、再任用職員の数はそれぞれ何人ですか。

2 点目、そのうち東伊豆町外から通勤の者は何人ですか。

3 点目、大規模災害等で緊急招集が発令された場合、町外からの通勤者に対する対応はどうなっていますか。

答 総務課長 令和7年度の東伊豆消防署は、職員28人を配置し、再任用職員の配置はございません。

東伊豆町外から通勤している職員は、28人中24人で、伊東市・河津町、下田市等からの通勤者となっております。

なお、組合全体で東伊豆町内在住職員は、14人で、そのうち4人が東伊豆消防署に勤務しており、その他の10人は伊東消防署、第2方面内の各消防署に勤務しております。

警防課長 緊急招集が発令された場合、町外からの通勤者に対する対応についてお答えします。

災害時における職員の動員については、駿東伊豆消防組合警防規程において、職員が勤務する署所へ動員する所属職員動員と、あらかじめ指定された居住地の最寄りの署所へ動員する指定場所動員の2つが定められており、原則、所属職員動員で対応しております。

所属職員動員では、台風など異常気象によるものについて、情報収集した中で災害予測を立て、参集が困難になる前に動員命令を発令することとしております。

しかし、地震など突発的に発生する災害に対しましては、所属職員動員では参集が困難な場合も考えられることから、指定場所動員に切り替えることとなります。

このように、御質問にある東伊豆消防署に勤務する職員で町外在住者は、あらかじめ指定された署所に参集することになる一方、東伊豆町に在住する職員は東伊豆消防署に参集することになります。

本消防本部としましては、あらゆる災害に対応できるよう参集体制を整備

しております。

以上でございます。

大庭 桃子 議員

・女性職員の採用状況について
・広域化のメリットとされる署所の配置について

問 私からは2つについてお伺いします。

まず1番目、女性消防吏員の採用の状況について、平成27年に総務省消防庁から発出された「女性消防吏員の更なる活躍に向けた取組の推進に向けて」によると令和8年度までに全消防吏員のうち女性消防吏員の比率を5パーセントとするとされています。

(1) 当消防組合の計画と進捗状況はどうか。

(2) 計画が進まないあるいはどこにあると考えているか。

(3) 今後推進していきたいことは何か。2番目です。

広域化のメリットとされる署所の配置について、広域化に向けたメリットとして署所の適正配置が言われました。もうすぐ10年になりますが、具体的

な案は見えてこないように見えます。
かなり老朽化の進んだ施設もあり、浸水地域に存在している施設もあります。
(1) 建替え計画はどのように考えているか。

(2) 庁舎の長寿命化はどのように考えているか。

答 総務課長 女性消防吏員の採用の状況について、初めに本組合の計画と進捗状況はどうかについて、お答えします。

まず、計画につきましては、平成28年9月駿東伊豆消防組合次世代育成支援・女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画」を策定し、令和8年度当初までに、全消防吏員数に対し、女性消防吏員の割合5パーセント以上の任用を目標としております。

次に進捗状況につきましては、平成28年度当初、女性消防吏員の割合は1.5パーセント、9人の状況でありましたが、令和7年度では、3.9パーセント、24人となり、5パーセント目標まで残り、1.1パーセントの進捗状況となっております。

次に、計画が進まないあいりがどこにあると考えているかについてお答えします。

まず、女性消防吏員の割合を上げるための取組として、女性が働きやすい職場環境づくりに着手し、ハード面では、女性用仮眠室やシャワー室などの新設を行い、8庁舎において女性が当直勤務できる環境を整え、ソフト面についても妊娠中に着用できるエプロン型の執務服の導入や出産、育児休業後も安心して職場復帰できる体制づくりを行ってききました。

また、多方面で活躍できるよう配置先を消防隊や救急隊のみならず、消防指令センターや救助隊などに配置拡大を行い、女性消防吏員の意欲向上に努めております。

その結果、女性消防吏員の割合は年々目標値に近づいているものと考えております。

一方、課題といたしましては、採用試験の受験者総数に占める女性の割合は、毎年6パーセント程度を推移し横ばいとなっており、女性の職業選択の中において消防官の認知が増えていない現状が伺えることから、受験者総数に占める女性の割合を増やすことが課題であると考えております。

次に、今後、推進していきたいことは何かについてお答えします。

今後について、女性が働きやすい職場環境づくりや女性消防吏員のキャリア形成をさらに推進するとともに、受験者の裾野を拡大する取組として、これまで、女性消防吏員自らが作成した女性消防士ガイドブックの活用やホームページ、SNS、テレビ局の密着取材を受けるなどあらゆる広報媒体を通じて、女性消防吏員という職業の魅力を発信してまいりましたが、新たに高等学校や中学校等での職場講話に女性消防吏員を積極的に派遣するなど、更なる認知拡大を図ってまいりたいと考えております。

続きまして、広域化のメリットとされた署所の適正配置について、初めに、建て替え計画は、どのように考えているかについてお答えします。

本組合では、令和5年度に消防署所の適正な配置について、今後の方向性を示した「駿東伊豆消防組合消防署所適正配置計画」を策定しています。

当該計画においては、庁舎の目標耐用年数を鉄筋コンクリート造50年、鉄骨造38年に設定し、目標耐用年数の5年前から庁舎更新の検討を開始することとしております。

消防署所適正配置の考え方といたしましては、平成27年3月に一般財団法人消防科学総合センターに調査委託し作成された「駿東伊豆地区消防救急広域化協議会市街地等設定のための支援調査報告書」の災害発生箇所分析結果に基づく消防需要のほか、大規模災害時においても消防活動が継続できるよう、津波浸水想定区域、洪水浸水想定区域及び土砂災害警戒区域等の立地に課題がある庁舎の洗い出しを行い、庁舎更新時、移転等により、安全かつ円滑な消防活動が実現できる位置に配置することを考えております。

なお、本計画は庁舎更新時、本組合と関係構成市町と建設位置を調整していく中で、本組合が理想とする庁舎位置の考え方を示す基礎資料となるもので、今後、具体的に署所の移転、建替え計画が立案された際には、パブリック・コメント制度等を活用し、広く住民の意見を求め、地域自治会等に丁寧な説明をしてまいりたいと考えております。

次に、庁舎の長寿命化はどのように考えているかについてお答えします。

本組合の消防庁舎にあつては、構成市町からの無償貸与の庁舎と、旧田方地

区消防組合で所有し、継承された組合財産の庁舎があるため、無償貸与の庁舎については、当該庁舎を所有する市町の長寿命化計画に基づき、また、組合財産の庁舎については、本組合で作成した長寿命化計画に基づき、庁舎を長期にわたり使用できるように、計画的効率的な修繕に努めてまいります。

以上でございます。

問 女性職員の採用状況について、あと一年で、7人を採用し、5%の目標を達成できるのか。

令和7年末までに監督的地位にある職員に占める女性割合1パーセント以上(6人以上)という目標があるが、実際には3人、0.5パーセントということで、こちらの数字が伸びてこない理由は何か。

消防庁が進めている女性消防吏員活躍推進アドバイザー事業というのがあり、240回派遣して1万4千名以上の受講者があったということだが、そういった事業に取り組んだことはあるか。

以上3点について伺う。

答 総務課長 まず、目標を達成できるのかという点につきましては、今年

年度も令和8年度の採用試験がございます。その中でも女性の受験者がいらっしゃると思います。

ただし、採用試験につきましては、これまでそのようなのですが特別に女性採用枠というものは設けておりませんので、本組合においては、男女問わず優秀な人材を採用していきたいと考え、特別な採用枠は設けておりません。

その中で、今年度受けていただく学生さん、男女問わずですが、女性の方が成績が優秀であれば採用の比率は増えていくかと思えます。目標が達成できるかどうかという点につきましては、その試験結果次第だと考えております。2つ目の管理的地位にある職員が1パーセント以上という目標について、その状況にない理由は何かという点につきましては、私どもの女性職員は平成15年に採用しておりまして、今現在、40代後半、20年ちよつとの勤務でございます。

これまでまだ女性職員の歴史が浅いということもあって、昇任していくにあたって試験制度があるのですが、順次試験を受けていただいております。その中でまだ管理職になる職員がいないというのが現状でございます。

これから年数が経っていけば、いずれはそういった職員が増えていくのではないかと考えております。

それから3つ目の総務省消防庁におけるアドバイザー制度の利用につきましては、これまで利用したことはございません。

以上でございます。

問 署所の配置について、広域化と言っても現在ある建物は、そこにあるっていう必然性があったので、簡単に2つあるいは3つを統合して1つにするとかはできないことだと思います。

例えば、具体的に伊東市の吉田出張所とか浸水地域にある田方北消防署などで、建て替えなど必要ではないかと思われるが、そういう見通しは持っているか。

答 総務課長 田方北消防署につきましては、洪水浸水想定区域となっております。

庁舎更新時には、関係市町と協議をして、そういった場所でない所に移転をしたいということで協議を進めていきたいと考えております。

吉田出張所につきましては、そういった災害想定区域ではございません。

が、昭和55年建築で45年を経過しておりますので、今年度から建物所有者である伊東市との協議を開始していくというかたちとなります。

以上でございます。

令和6年度決算審査報告

令和6年度決算審査報告

令和6年度の当初予算額は、6,698,538千円で、これに繰越事業費繰越額73,205千円及び補正予算額223,617千円を加えた最終予算額6,995,360千円となっており、前年度に比べ424,017千円増加している。

歳入決算額は、6,980,504千円で、前年度に比べ491,767千円増加している。

収入率は、予算現額に対して99.8%、調定額に対して100%と、前年度同様の水準で、不納欠損額及び収入未済額のない良好な状態である。

歳出決算額は、6,815,728千円で、前年度に比べ427,986千円増加している。

執行率は97.4%で、前年度に比べ0.2ポイント増加している。

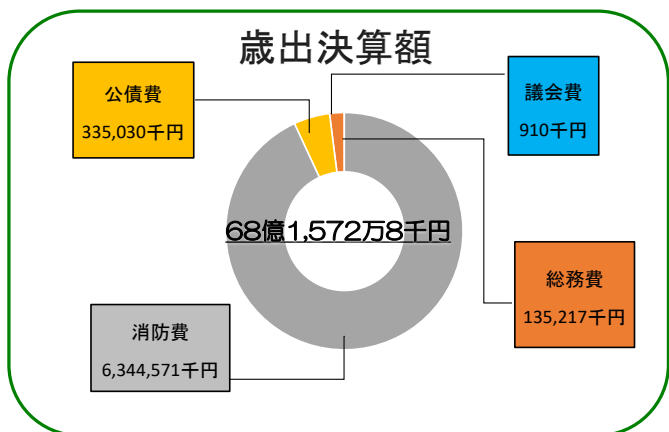
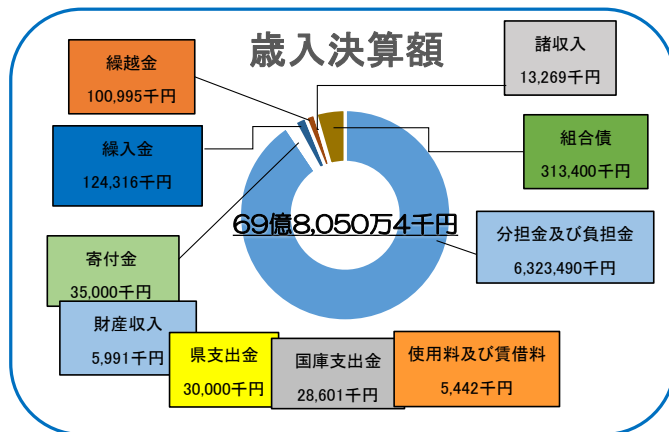
翌年度繰越額は71,394千円で、前年度に比べ1,811千円減少している。

不用額は108,238千円(対予算比1.6%)で、前年度に比べ2,158千円減少している。不用額の主なものは、職員管理費83,519千円(対予算比1.5%)及び消防運営費9,655千円(対予算比4.5%)である。



報告中の天野議員

款別決算額



予算執行状況

前年度と比較すると、次のとおりである。

(単位: 千円・%)

区分		令和6年度	令和5年度	増 減	増減率
予算額	当 初	6,698,538	6,276,633	421,905	6.7%
	補 正	223,617	165,772	57,845	34.9%
	繰越事業費繰越額	73,205	128,938	-55,733	-43.2%
	最 終	6,995,360	6,571,343	424,017	6.5%
歳入	調 定 額	6,980,504	6,488,737	491,767	7.6%
	決 算 額	6,980,504	6,488,737	491,767	7.6%
	対予算現額収入率	99.8	98.7	—	1.1pt
	対調定額収入率	100.0	100.0	—	Opt
	不納欠損額	0	0	0	—
	収入未済額	0	0	0	—
歳出	決 算 額	6,815,728	6,387,742	427,986	6.7%
	執 行 率	97.4	97.2	—	0.2pt
	翌年度繰越額	71,394	73,205	-1,811	-2.5%
	不 用 額	108,238	110,396	-2,158	-2.0%